

令和6年度用 小学校 図画工作 教科書 年間指導計画例

1. 題材配列の基本的な考え方

教科書の各学年における題材は、発達の段階に応じて実践に適切な季節及び行事との関係、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）や学習指導要領で扱われる材料・用具によって系統的に構成され、カリキュラム順に配列されています。また、学習指導要領で「教科の目標」として示されている三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育てられるように6年間を通して考えられています。

2. 3学期制、2学期制のカリキュラムについて

1で述べたように、教科書の題材配列はカリキュラム順を意識していますので、基本的にはページの順番に学習することが可能です。したがって、各学年の年間指導計画例では、教科書のページ順に示しています。しかし、たとえば、学校行事などに合わせる場合や、学期をまたがないように題材を終了させたい場合などは適宜学習の順番を入れ替えて使用することを推奨します。また、いくつかの題材は選択題材の扱いとしています。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、各学校や児童の実態に合わせて、自由に選択したり、計画を修正したりしてご活用ください。なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。

3. 凡例

活動の内容は以下のように示しました。なお、表現と鑑賞は一体的に扱われるものであるため、表現題材の中での鑑賞活動や、鑑賞と一体的に扱われる表現活動などは、共通的に理解されているものとして、煩雑になるのを避けてあえて記さず、その題材での中心的な内容のみを示しています。

〔遊〕 = 造形遊びをする活動

〔絵〕 = 絵に表す活動 / 〔絵・版〕 = 版に表す活動

〔立〕 = 立体に表す活動

〔工〕 = 工作に表す活動

〔鑑〕 = 鑑賞する活動

また、育てたい三つの資質・能力はすべての題材でかかわってきますが、その題材で特に大切にしたい目標を表しています。

● = 「形や色、方法や材料を知って、工夫する力」

● = 「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」

● = 「心を開いて楽しく活動し、友達とかわり、協力し合う力」

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

■第5学年の年間指導計画（案）（年間授業時間数50時間）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50	3学期制	2学期制	時数	題材名	学習指導要領との関連							
					内容	A表現(1)		A表現(2)		B鑑賞(1)	〔共通事項〕	
						ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ
			4	●季節を感じて	[絵]		○		○		○	○
			4	●のぞくと広がる ひみつの景色	[工]		○		○		○	○
			4	●ビー玉大ぼうけん	[工]		○		○		○	○
			2	●線から生まれた わたしの世界	[絵]		○		○		○	○
			2	●動きの形をつかまえよう	[絵]		○		○		○	○
			2	●ねん土で動きをハイ、ポーズ！	[立]		○		○		○	○
			2	●ぺたんこねん土でつくってみると	[立]		○		○		○	○
			4	●だんボールでためしてつくって	[立]		○		○		○	○
			6	●見つけてワイヤーワールド	[工]		○		○		○	○
			6	●くるくる回して	[工]		○		○		○	○
			2	●コロコロ ローラーダンス	[絵]		○		○		○	○
			6	●重ねて広がる形と色	[絵・版]		○		○		○	○
			6	●進め！糸のこたん検隊	[工]		○		○		○	○
			2	●地球まるごと たからばこ	[遊]	○			○		○	○
			2	●この空間がいい感じ	[遊]	○			○		○	○
			4	●学校おすすめガイド	[絵]		○		○		○	○
			4	●あったらいい町 どんな町	[絵]		○		○		○	○
			2	●わたしの町のひみつ教えます	[鑑]		○		○	○	○	○
			6	●動いてクレイアニメーション	[工]		○		○		○	○
			6	●おもしろかんぱん屋さん	[工]		○		○		○	○

はどちらかの題材を選択する扱いです。

第5学年の年間授業時間数	50
絵や立体に表す活動に該当する時間数	22
工作に表す活動に該当する時間数	22
その他の活動（造形遊び、鑑賞）に該当する時間数	6

題材ごとの観点別評価規準

1. 観点別評価規準の基本的な考え方

本資料には、令和6年度版「図画工作」での年間指導計画作成の際に必要な題材ごとの評価規準を記載しています。評価規準は、児童が題材の学習を通して身につける資質・能力の状況を題材ごとに学習内容に基づいて表したものです。地域や児童・学校の実情に応じて評価・評定にお役立てください。

平成29年の学習指導要領改訂に関わって、評価の観点が3観点に整理されました。本資料においては、「観点別評価規準」とあわせて先生方の利便性を考慮し、あくまで一例ではありますが、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を掲載しました。

教科書においては、題材ごとの目標を児童に向けて「学習のめあて」として示し、中心となる課題を「特に大切なめあて」として強調して示しています。本資料においても「☆」マークで強調して示し、「特に大切なめあて」として強調して示した項目に関連して作成しています。

2. 凡例

本資料において、「学習のめあて」を以下の項目で示しました。

知：「知識及び技能」に関する目標

思：「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

学：「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

また、「観点別評価規準」を以下の項目で示しました。

知：知識の観点

技：技能の観点

発：発想・構想の観点

鑑：鑑賞の観点

主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
季節を感じて	絵	4	季節から感じたことを絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	知 自分もった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさを理解している。 技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色、奥行き、色の鮮やかさなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを豊かにもち、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、自分なりのこだわりをもち、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				☆ 思 季節を感じて、表したいことや表し方を考える。	発 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 季節を味わい、描くことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、自分もった季節のイメージを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
のぞくと広がる ひみつの景色	工	4	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知 表したいことに合わせて材料を選び、組み合わせを工夫する。	知 「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を工作に表すことを通して、形や色、奥行きなどを理解している。 技 さまざまな材料を適切に活用するとともに、これまでの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色、奥行きなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを豊かにもちながら、感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、自分なりのこだわりをもちながらどのように主題を表すか考えている。	空き箱、紙粘土、身近な材料、接着剤、絵の具、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				☆ 思 どんな秘密の景色にするか考える。	発 表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 自分や友達の作品のよさを味わう。	主 つくりだす喜びを味わい、「のぞき窓」から見ながら箱の中に自分の世界を表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
ビー玉大ぼうけん	工	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知 ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	知 コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。 技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。	互いのアイデアをし合いながら力を合わせてコースターをつくり、友達と積極的に関わりながら遊んだりつくりかえたりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	段ボール、片面段ボール、工作用紙、身近な材料、接着剤、布粘着テープ、ホチキス、ビー玉、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				甲 転がる面白いコースやしかけを考える	発 玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				心 作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑			
				☆学 友達と協力してつくることをたのしむ。	主	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
線から生まれた わたしの世界	絵	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	☆知 線の描き方や組み合わせ方を工夫する。	知	いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。	発想豊かに想像を広げ、表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方など、表し方を工夫して表している。	鉛筆、ボールペン、カラーペン、画用紙、定規、コンパス、型になるものなど
					技	表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。		
				思 線を描きながら表したいことを考える。	発	線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
			学 いろいろな線を描くことをたのしむ。	主	思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。			
動きの形をつかまえよう	絵	2	人の動きや形をとらえて絵に表す。	☆知 人の動きや形をとらえて、表し方を工夫する。	知	人の動きを見たりそれを描いたりすることから、人の動きや形を理解している。	人の動きを見てそれを描くことから、人の動きや形を理解するとともに、材料や用具をさまざまに試しながら、表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして、表し方を工夫して表している。	絵の具、カラーペン、クレヨン、パス、コンテ、チョーク、画用紙、色画用紙、身近な材料など
					技	表したい形を表すために、材料や用具の特徴を生かして表し方を工夫して表している。		
				思 動きや形をどのように表すか考える。	発	動きや形から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑	自分や友達の作品のよさや特徴などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
			学 いろいろな表し方で動きや形を描くことをたのしむ。	主	人の動きをとらえることをたのしみ、いろいろな表し方をして表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。			
			☆知 ねじったりひねったりして、動きの出る表し	知	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解するとともに、実際の体の動きを角度を変えて見たり、自分でポーズをとってみたりすることで、体の構造を意識しながら粘土の形を変	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど	

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	ハ 知 方を工夫する。	技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。	えていくなど、表し方を工夫して表している。	
				思 動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。	発 人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑 自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	主 粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
べたんこねん土でつくってみると	立	2	板粘土をつくり、それを立たせたり丸めたりしながら表したいことを立体に表す。	☆ 知 べたんこ粘土でできる形のつくり方を工夫する。	知 板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解している。	板粘土を巻いて丸めたり立てたりすることから、形の特徴を理解するとともに、切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を自分なりに工夫して表している。	土粘土、たたら板、のし棒、粘土板、タオルなど
				技 切ったりひねったりつけたしたりするなどして、表したいものに合わせて立体的に表す表し方を工夫して表している。	発 板粘土を巻いて丸めたり立てたりしてできた形をもとにイメージを広げ、表したい形を見つけ、どのように表すか考えている。		
				思 不思議な形から、つくりたいものを考える。	鑑 自分や友達の表し方のよさや面白さを味わいながら表現の特徴を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
学 べたんこ粘土からできる形の面白さをたのしむ。	主 板粘土でできる形の変化のよさを味わい、粘土で形をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。						
だんボールでためしてつくって	立	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知 段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。	段ボールの形の変え方を試す中でイメージを広げ、段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	段ボール、接着剤、絵の具、カッターナイフ、段ボールカッター、はさみ、カッターマット、定規など
				技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。	発 段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				☆ 思 段ボールの特徴から表したいものを考える。	鑑 段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				学	主				
見つけてワイヤーワールド	工	6	針金の特徴を生かして、立体的に表す。	学	段ボールをいろいろな形に変えて、つくることがをたのしむ。	主	段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解するとともに、針金やペンチの扱いに十分に慣れ、針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。	針金、板材、U字釘、ペンチ、ラジオペンチ、金づちなど
				☆知	針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。	知	針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。		
				技		技	針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。		
				思	針金のできる形から、表したいことを考える。	発	針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。		
				鑑		鑑	作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
学	針金のできる形を見つれたりつくったりすることをたのしむ。	主	針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。						
くるくる回して	工	6	クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる。	☆知	形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する。	知	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解するとともに、身近材料などを活用し、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、自分なりに表し方を工夫して表している。	工作用紙、針金、ストロー、紙粘土、接着剤、ホチキス、はさみ、ペンチなど
				技		技	身近材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。		
				思	揺れ棒の動きからおもちゃを考える。	発	動きやバランスをもとに、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。		
				鑑		鑑	自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学	繰り返しの動きの面白さをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
				知	ローラーを使った表し方を工夫する。	知	ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。	ローラーの技を試行錯誤しながらローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、自分なりのこだわりをもって、どのように表すか考えている。	絵の具、画用紙、ひも、輪ゴム、梱包材、ローラー、練り板、新聞紙など
				技		技	ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
コロコロ ローラーダンス	絵	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。	発 ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 ローラーを使っていたのしく活動する。	主 つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
重ねて広がる形と色	絵・版	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。	☆ 知 彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。	知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 技 彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。	彫り進めながら発想を豊かに広げて形を構成し、重ねる色の効果をよく考えて刷り重ねて表現している。	版画インク、版画用紙、版木、版画用具、彫刻刀、滑り止め、新聞紙など
				思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。	発 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。 鑑 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	主 彫り進み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
進め！糸のこたん検隊	工	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせでつくる。	☆ 知 電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。	知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解するとともに、電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を自分なりにこだわりをもって工夫して表している。	板材、接着剤、絵の具、紙やすり、電動糸のこぎり、ローラーや筆など
				思 切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。	発 形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこぎりで切り、板材を組み合わせでつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
地球まるごと たからばこ	遊	2	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。	知 自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。	友達と協力して、木の枝と木の枝をつるで結び合わせていくなど、自分たちだけの空間を想像しながら場所を変えていき、友達を変えた場所のよさにも気づき、面白さやよさを伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。	枝、葉など
				技 これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。	発 材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。		
				思 材料や場所の特徴を生かして何ができるか考える。	鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				☆学 自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。	主 友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
この空間がいい感じ	遊	2	学校のさまざまな場所にビニルひもを使ってつなぐことで空間を変化させる活動をする。	知 場所に合わせてビニルひもの使い方を工夫する。	知 ビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を自分のよいと思うものに変えることを通して、形や色、場所や空間を理解している。	友達と協力して、自他のイメージを共有しながらビニルひもを使って場所と場所をつなぎ、空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ビニルひも、養生テープ、はさみなど
				技 表したい空間になるようにビニルひもの使い方など活動を工夫してつくっている。	発 ビニルひもで場所と場所をつなぐことでできる空間の変化をもとに自分のイメージをもち、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
				思 ビニルひもや場所の特徴からできることを考える。	鑑 造形的なよさやいろいろな表し方の特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を深めている。		
				☆学 ビニルひもを使って空間を変えることをたのしむ。	主 友達と協力して、ビニルひもで空間を変化させる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
学校おすすめガイド	絵	4	学校の中で見つけたすてきなものやことを絵に描いて伝える。	☆知 おすすめしたいことが伝わるように表し方を工夫する。	知 自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解している。	自分なりの見方や感じ方を働かせておすすめのものやことを絵で紹介する活動を通して、形や色などを理解するとともに、おすすめしたいものやことの感じが伝わるように描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、こだわりをもって表し方を工夫している。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				技 おすすめしたいものやことの感じが伝わるように、描画材料を活用し、これまでの経験や技能を総合的に生かし、表し方を工夫して表している。	発 学校の中からおすすめしたいものやことを思いつき、どのように表すか考えている。		
				甲 学校のおすすめしたいものやおすすめしたい			

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				心 ことを考える。	鑑 友達の表現の意図や表し方の工夫などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 学校の中でいろいろなよさを見つけて、伝え合うことをたのしむ。	主 学校の中でおすすめしたいものやことを見つけて、絵に表して伝え合う学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
あったらいい町 どんな町	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	知 思いついた形や色の組み合わせを工夫する。	知 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。	どんな建物があるか、どんな住人がいるか、何が起きるのか、具体的にあったらいいなという町を豊かに想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、鉛筆、色鉛筆、カラーペン、コンテ、画用紙など
				技 想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。	技 想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。	発 あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑 自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	鑑 自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
				学 あったらいいなと思う町を描くことをたのしむ。	主 想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	知 作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気づく。	知 作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。	住人はどんな人か、何が起きるのか、どんなことができるのか、想像を膨らませて、積極的に自分の意見を伝えている。友達の意見も聞いて自分の見方をいっそう深めている。	作品など
				☆ 思 町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	発 町の作品から、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。		
				鑑 互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	鑑 互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
				学 互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	主 互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
				知 キャラクターの動かし方やコマのつながりを	知 オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。	積極的に友達とアイデアを出し合ったり、撮影しようとしていたりして、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	紙粘土、絵の具、画用紙、色画用紙、タブレット端末、カメラなど

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
動いてクレイアニメーション	工	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくってたのしむ。	工夫する。	技 お話をもとに、キャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫して表している。	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発 キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。		
				友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	鑑 友達の作品の表現の意図や特徴、動かし方による違いなどについて、自分の見方や感じ方を深めている。		
おもしろかんぱん屋さん	工	6	学校のことをたのしくわかりやすく伝える看板をつくる。	学校のことを伝える看板の形や色を工夫する。	知 身のまわりの看板や展示する看板の形や色などを理解している。	つくりだす喜びを味わい、主題をわかりやすく伝えるためにはどのような表し方がよいかを探究しながら、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	段ボール、画用紙、色画用紙、身近な材料、接着剤、絵の具、カラーペン、カッターナイフ、カッターマットなど
				学校の生活をたのしくする看板を考える。	技 段ボールを活用し、これまでの材料や用具などの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				看板をつくって伝え合うことをたのしむ。	発 看板にして伝えたいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
					鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。		
					主 主 つくりだす喜びを味わい、学校のことを伝え合う看板をつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。		